

令和 6 年度
第 4 回 教育委員会 会議録

那須町教育委員会

令和6年度第4回那須町教育委員会会議

令和6年11月5日午後1時30分から、令和6年度第4回那須町教育委員会が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議に出席した委員は次のとおりであります。

平久井好一教育長、菊地厚子委員、大森源一郎委員、菊地昭一委員、
金田裕美子委員

1 本会議に出席を求めた者は次のとおりであります。

学校教育課長 島村育男、生涯学習課長補佐 相馬さおり、こども未来課長 渡邊 誠

1 本会議の書記を命ぜられた者は次のとおりであります。

学校教育課長補佐 赤羽根 初美

1 本会議の傍聴者は次のとおりであります。

なし

1 本会議の議事は次のとおりであります。

議事

- (1) 令和7年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について
- (2) その他

報告事項

- (1) 各種許可・認定状況について
- (2) その他

1 開 会

学校教育課長

定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第4回那須町教育委員会を開催いたします。

はじめに、平久井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

2 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。令和6年度第4回目の教育委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。

先日11月2日に、那須中学校に於いて創立10周年記念の式典がありました。ここで私がとても嬉しかったのは、卒業生がまだ9年分しかおりませんが、その9年分の卒業生の代表が、オンラインで何度も会議を行い、この創立記念式典を作り上げたということです。ラップやフルートの演奏、旧高久中、那須中の校歌の合唱、現在の校歌の合唱など今までの型にはまった式典とは違う、企画盛りだくさんのとても良い式典でした。その後、文化センターで開催されていまして中央中学校の文化祭に参加しました。クラスの合唱や吹奏楽部の発表がありました。こちらも、とても良い雰囲気の発表でした。文化センター、スポーツセンター、ゆめプラザの駐車場が満車状態で、たくさんの保護者や地域の皆さまにお越し頂いてとても良い催しだったと思いました。

先ほども申し上げましたように、那須中学校も、那須中央中学校もとても良い雰囲気で学校運営がなされており、大変嬉しく思いました。

今現在、町の方では来年度の新規事業、継続事業に向けて予算要求が始まったところです。そういった中で本日は、来年度に向けて教育委員会の主要事業について説明をさせていただきたいと思っております。どうぞ、皆さんから忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育課長

ありがとうございました。

これより進行を平久井教育長をお願いいたします。

教育長

それでは、令和6年度第4回那須町教育委員会を始めさせていただきます。

本日の出席委員は、菊地厚子委員、大森源一郎委員、菊地昭一委員、金田裕美子委員の4名であります。

また、本会議に出席を求めた者は、島村学校教育課長、相馬生涯学習課長補佐、渡邊こども未来課長の3名であり、書記として学校教育課赤羽根課長補佐を同席させております。

3 会議録署名人の指名

教育長

本日の会議録署名人を指名致します。菊地昭一委員と金田裕美子委員を本日の会議録署名人に指名致しますので、どうぞよろしく申し上げます。

4 前回会議録の承認

教育長

続きまして、前回会議録の承認ですが、会議録の説明を学校教育課長よりお願いいたします。

(学校教育課長説明)

教育長

ただいま、説明のありました会議録につきまして、何かございますか。

全委員

ありません。

教育長

はい。分かりました。

それでは、ただいま説明がございました会議録につきまして、承認をいただけるということで、よろしいでしょうか。

全委員

承認する。

教育長

それでは、本日の委員会の日程について、学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長説明)

5 協議事項

教育長

それでは、議事に入ります。議案第1号 令和7年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について、それぞれ所管の課長の説明をお願いいたします。それでは、こども未来課からお願いいたします。

(こども未来課長説明)

教育長

ただいま説明をいただきました。こども未来課の主要事業計画(案)について、委員の皆さまからご意見をいただきます。いかがでしょうか。

大森委員

はい。なすのそら保育園敷地の一部に何か建設中ですが、町として補助金等はあるのでしょうか。

こども未来課長

はい。栃木県の補助金を活用しまして、なすのそら保育園が、障害児保育施設を建設しております。所管課は、保健福祉課になります。基本的には、県の補助金を活用して直接事業者が実施していくものであり、町としては、土地を貸与しているものでございます。

大森委員

はい、わかりました。

教育長

流れとしては、どんな子どもが通園して、どう関わってもらえるのか説明をお願いします。

こども未来課長

事業主体であります、なすのそら保育園に限らず、他保育園等からの要請に応じて、支援を要するお子様をお預かりする施設であるとお伺いしております。

それ以上の細かいところは、私も伺っておりません。

教育長

他の保育園に在籍していながら、土日は新施設に通園するということではないんですか。

こども未来課長

なすのそら保育園に限らず、他保育園等からの要請に応じてお預かりすることは可能だと伺っておりますが、詳細はまだ把握しておりません。

教育長

障害を持つお子様の保護者にとっては、とてもニーズがあると思います。放課後とか一日預かってもらえるところがあれば良いでしょうね。

他にいかがでしょうか。

大森委員

当然その施設は民間ですから、有料ですね。

こども未来課長

はい、有料になるかと思えます。先ほど申し上げた通り、県の支援を活用して実施していますので、ケアを行いながら料金の設定等についても、ある程度支援はあるのかなと思っております。

大森委員

これは、町にとっても良い施設ですよ。

菊地(厚)委員

子どもの居場所づくり事業ですが、私は民生委員も兼ねていまして、那須中学校の向かい側に設置されています子ども食堂についてのお話も出まして、食事の提供はもちろんですが、食事を通して大人との交流や、隣接する塾でそのまま勉強に移行することもできま

す。毎週水曜日には、要請を受けて近くの学びの森小学校の子どもたちの送迎支援も行っているようです。那須中央中学校区にはまだそういう動きが具体的にないのですが、町として働きかけていただき設置の方向に行けると良いなと感じました。

こども未来課長

那須中学校の向かい側の子ども食堂ザ・テーブルは、子どもたちに温かく栄養満点で楽しいお昼ごはんを提供しようというコンセプトの下にスタートしました。子どもたちには安価で食事を提供したり、菊地(厚)委員が言われた通り、隣が学習塾になっており、その学習塾の先生方とも相互に協力関係ができています。これらから塾業務の空き時間などには子どもたちに勉強を教えてくださいたりして、連携が図られた活動ができているようです。この事業につきましても補助金支援対象になっており、活用されているところであります。今年度は、子どもの居場所づくり事業は3箇所となり、那須中学校前のザ・テーブル、二枚橋のフォレストカフェ、旧高久保育園跡地のくらしのわに入っているカフェで、子どもたちに食事の提供や遊びの場を提供して、子ども食堂や学習支援等を行っております。

教育長

ザ・テーブルさんは、補助金などを活用して設置されていますが、学校の目の前にあるということが良いんだと思います。校長なども時々、子どもたちの様子を確認するために訪問しています。

大森委員

ザ・テーブルさんは、周りの人から協力をいただいて、寄付を募って活動資金を得ております。

この予算150万円というのは、3箇所に全部150万円使うということですか。

こども未来課長

補助金の体系としましては、最初に事業所として設置した時の補助金と運営に至った時の補助金の2種類となっております。開設費というものが一番最初だけですが、年額で10万円と、運営費にかかる支援が月額4万円となります。対象事業は、子ども食堂と学習支援の場所と自由な場所になります。重複した場合は年額で5万円を加算する体系になっておりますので、3箇所で全体の補助金が全て無くなるというものでもございません。

大森委員

分かりました。

教育長

那須町に、民間の子ども食堂のような施設がもう少しできれば良いなと思っております。フォレストカフェは、どういう方が対象で、場所はどの辺りなのですか。

こども未来課長

場所的には、二枚橋の森林の中に位置します。どのくらいの実用があるのか、詳細は確認したいと思います。

教育長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。特にないようでしたら、続きまして学校教育課の説明をお願いいたします。

(学校教育課長説明)

教育長

ただいまの学校教育課の主要事業(案)について、何かありましたらお願いします。

菊地(厚)委員

小・中学校施設等改修事業についてですが、旧朝日小学校の校舎を使用している、まちづくり広場の代表の近山さんとお話する機会がありまして、校舎の改修についてお伺いしたのですが、古い校舎を使うというのは本当に大変だったというお話を聞きました。国交省の補助事業の対象になって数億円の補助をいただけたことから、施設が完成したというお話がありました。校舎を長く継続して使用していくことについては、学校のあり方検討会で十分に検討すべきことと思いますし、予算の確保は慎重に十分にしていかないと、校舎を長く使い続けるということは難しいなど実感しました。

教育長

どういう教育をするかについて検討した上で、施設整備をしなければ、使いづらい校舎になってしまうのではないかと心配しております。

学校教育課長

設備的な部分というのは、議論がなくてもある程度進められるかもしれないですが、教室の作りであったりとか、コミュニティールームでも多目的で大きいスペースが欲しいとかそういう議論の機会については、今後検討していきたいと思います。

教育長

現場の先生の見解を取り入れて改修していただきたいと思います。

菊地(厚)委員

その部分は大事にして検討して欲しいと思います。

大森委員

確認ですが、国では体育館の冷暖房設置の呼びかけがありましたが、那須町としては、どのように考えているのですか。

学校教育課長

はい。そこも取り組んでいきたいところですが、そこまでお金が回せていないのが実情です。那須町は避暑地と知られておりますが、気候の変化により夏は暑いですし、単純にエアコンだけを入れて体育館を冷やそうとしても、既存の建物では断熱効果が得られず、構造上冷えません。国の補助金を活用するには、断熱工事を行う必要があります、町の負担もかなり高額になってしまうというのが実情でございます。

那須塩原市や大田原市で導入されておりますスポットクーラーの活用もよろしいかと思えます。大規模改修の際に体育館も検討したいと考えております。

大森委員

那須町は、まだ1校も設置されていないということですね。

学校教育課長

そうですね。今は扇風機位しかありません。

教育長

スポットクーラーは用意できたのですか。

学校教育課長

まだです。予算要求はこれからになります。

教育長

部活動や体育の授業もあるので、スポットクーラーは1校2台程度は設置したほうが良いと思います。

他にいかがでしょうか。

菊地(厚)委員

学校を訪問していると、支援員さんが足りないので増やして欲しいとの声を聞くのですが、例えば出張で居ないところを補おうとすると、低学年の方に支援員さんをつけると、高学年につけられないなど。目の前の子どもたちの支援については人件費がかかってしまいますが、ソフトとしては、重要な面ではないかと思い、お話を聞いてきましたのでお伝えいたします。

学校教育課長

これに関しましては、当然支援員さんが多ければ多いほど、学校としては助かると思いますが、無制限にというわけにもいかない部分もございますので、現場の状況と原因を聞きながら、現状維持が精一杯なのかもしれませんが、那須町でも一定の基準を設けながら対応を考えてみたいと思います。

大森委員

定年延長、再任用職員は、那須町の学校では何人位いるのですか。

教育長

県費での再任用職員もあり、いろいろな業務で入っていただいています。常勤で他の先生と同じように勤務している職員もおりますし、初任者指導教員という立場で、一週間に一回学校に来て指導している先生もおります。

大森委員

その他に学習支援という、那須町独自の先生もいらっしゃいますよね。何人位いらっしゃるのですか。

学校教育課長

そうですね。生活支援や学習支援として学校に配置している会計年度任用職員は50人近くおります。

教育長

町の会計年度任用職員の配置人数は、かなり多いです。この他に、県費の再任用職員もおります。

大森委員

結構いらっしゃいますね。一応汲々としている状況ではないということですね。

教育長

育児休暇取得者の代替補充が厳しく、教務主任が授業をやっているような状況です。会計年度任用職員は、あくまでも指導助手ですので、授業を行うことができないため、学校現場では大変な状況です。大規模学校であれば、先生の人数も多いですが、本町のような単一学級では大変な状況です。

大森委員

はい、分かりました。先生方が、苦勞しないで働ける場所を作ってあげたいですね。

教育長

他にございませんか。

菊地(昭)委員

学校の備品はどうしているのですか。

学校教育課長

各校からのヒアリングに応じて、中身を精査して購入したいと考えております。

菊地(昭)委員

児童生徒が怪我をしないようにしていただきたいと思います。

体育館のスポットクーラーについては、それを使用してまで暑い時に無理をしてスポー

ツをしなくても良いのではないかと思います。

学校教育課長

遊具関係については、すでに点検を実施し、必要なものについては改修しております。月に一度なり安全点検を実施しており、危険性があるものについては最優先で改修していく考えでおります。

教育長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。特にないようでしたら、続きまして生涯学習課の説明をお願いいたします。

(生涯学習課長補佐説明)

教育長

皆さんから、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

金田委員

部活動地域移行事業についてお伺いいたします。生涯学習課ではどのような議論をされているのか、また、その進捗状況や部活動地域移行に向けた実現率について、お聞きしたいです。

相馬生涯学習課長補佐

生涯学習課としましては、今年度5月21日に協議会幹事会を開催しておりまして、その中で国と県の方針、平日を含めた以降、地域クラブの設立等の提案をさせていただいております。こちらについて地域移行の仕方や地域クラブ運営等について意見がありまして、現在、内容を精査しております。

次に8月27日に、保護者メインの幹事会を開催いたしました。町の方針についてグループワークを行いました。幹事会メンバーは学校関係者や保護者等になっておりますので、意見や課題等結構抽出されていますので、それについて今後回答する予定です。

次に9月10日に、臨時校長会において今までの流れを、協議会と幹事会を踏まえた町の方針について、説明をさせていただきました。段階的に地域移行するべきとの意見から、中学校においては週末への移行への方針へ変更させていただいております。小学校は、地

域移行できる活動から順次平日を含める形で方針を展開しております。

今後11月8日に、校長会で説明後、年内を目途に学校のほかの先生方や保護者への説明会を実施する予定となっております。今後の予定としましては、11月8日に校長会説明、11月から12月に学校の先生や保護者説明、令和7年1月から2月に児童生徒説明、2月から3月地域クラブを設立、地域クラブからということになりますが、7月から外部指導者派遣を行う計画となっております。

金田委員

分かりました。そうすると令和7年度から移行していくということですね。

その会議では課題も出てきたということですが、会議録の公表はするのですか。

相馬生涯学習課長補佐

今、精査している段階なので、お示しはできないですが、何らかの形で教育委員の皆さまにも公表できたらよろしいのではないかと考えております。

金田委員

はい、ありがとうございます。

教育長

学校での部活動では生徒の人数が少なくなり、多様化を求められている現場としては、それを叶えるには地域に移行した方が良いのではとないかと考えます。那須町としては、今ある部活動を地域移行してクラブとしてやるだけではなく、平日は2日、土日は1日、その他の4日間は、プログラミングや自然体験や文化部に入ったり、いろいろな体験ができるようになれば良いと考えております。

先ほど説明がありましたように、1月2月頃には基となる総合型地域クラブを立ち上げて、準備ができたところから含めて行く予定です。最初は今あるクラブをやりつつ徐々に週に1回または月に1回サバイバルキャンプやプログラミング等ができれば良いなと考えております。新たな発想というのはなかなか切り替えられない方が多いような感じがしております。国では、基準が変更となり平日も地域移行へとなりましたが、那須町は最初から平日も含めて考えておりました。子どもの数が減って、各学校だけでは成り立たなくなっており、新たな仕組みを考えなければならないと考えております。

他にありましたらお願いします。

菊地(昭)委員

自治公民館等施設整備事業で、修繕等 50 万円以上かかった場合でないとは駄目なんですか。

相馬生涯学習課長補佐

はい。ですので、一箇所の修理場所だけではなく、屋根などの修理を含めて、50 万円以上で申請されています。

菊地(昭)委員

分かりました。

スポーツ施設改修事業で、伊王野小学校の体育館は使っているのですか。

相馬生涯学習課長補佐

避難所指定施設でもあるため修繕が必要ですが、毎年予算がカットされており、雨漏りのため使用できていない状況です。

菊地(昭)委員

最後に、那須町リレーマラソン大会実施事業ですが、走っている人は楽しいんだと思いますが、走らない人も楽しめるイベントにしてほしいと思います。

大森委員

スポーツ振興事業の説明の中で、九尾祭りの時に実施したスポーツが好評だったということですが、どのようなスポーツだったのですか。

相馬生涯学習課長補佐

吹き矢などについて、スポーツ推進委員さんが主体となって実施しました。子どもたちが何回もチャレンジして、嬉しそうに帰る姿が見られました。

また、大谷グローブを学校から借用して展示しまして、それで皆さんキャッチボールをしたりしていました。

大森委員

分かりました。

教育長

町スポーツ推進委員やスポーツ協会の方たちが全面的にバックアップしてくれて、入っている指導されたりしてますので、そういったところへの補助ですよね。私も行ってみましたが、結構人がいて良かったです。

大森委員

部活動の地域移行ができれば、そういうのも活発になるんでしょうね。指導者が集まってくれるかですね。

教育長

部活動地域移行で課題になってくるのが指導者です。指導者をどう確保するかですね。地域おこし協力隊なんかも入って、サバイバルみたいにワクワクするようなものを仕掛けられるかどうかなんですよね。これから職員と相談してやっていきたいなと思います。

那須町が、形作ろうとしている地域クラブは、西郷村の西の郷スポーツクラブを参考にしています。地域の実態に合った地域スポーツをやっていて、那須町には一番合っていると思います。

菊地(昭)委員

うちの息子が小学校の頃は、男子はサッカーをやっていましたが、週ごとに卓球や剣道など、スポーツは楽しいということを教えたくてずっと活動していました。何でもできるようにしたいですね。

教育長

11月14日18時から和い輪い学習フォーラムを開催します。このフォーラムには那須町の高校生も参加しますので、ぜひ見ていただきたいと思います。その中で放課後活動についていろいろな意見が出てくるのではないかと考えております。

他にありませんか。特にないようでしたら、議案第1号について、ご承認いただけますか。

全委員

承認する。

教育長

その他の議案について、事務局より何かありますか。

事務局

特にありません。

教育長

なければ、以上で議事については終わりにいたします。

6 報告事項

教育長

それでは、次に報告事項に移ります。報告事項（1）各種許可・認定状況について、説明をお願いいたします。

（学校教育課長説明）

教育長

報告事項（1）各種許可・認定状況について事務局から説明をいただきましたが、委員の皆さまから何かご質疑がありますか。

なければ、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

次にその他の議案について、事務局より何かありますか。

事務局

ありません。

7 その他

教育長

最後に、その他について、事務局より何かありますか。

事務局

ありません。

教育長

委員の皆さまからは何かありますか。

全委員

ありません。

学校教育課長

慎重なご審議をいただきありがとうございました。

以上で令和6年度第4回那須町教育委員会を閉会といたします。大変お疲れ様でした。

この会議録は書記 赤羽根初美が記録したものであり、事実と相違ないことを署名する。

令和6年11月5日

委員 金日 裕美子

委員 菊地 昭一

書記 赤羽根 初美

